

## 集会アピール（案）

2011年3月11日に起きた原発史上最悪の「東京電力福島第一原発事故」から3年半が経過しました。事故はいまだに収束の見通しも立たず、事故原因も究明されていません。大量の汚染水や放射能は地球環境を汚し続けています。また、今もなお13万人の方々が避難生活を余儀なくされ、日々の暮らしを奪われたままです。

しかし、原子力規制委員会は、地震や火山問題などの危険性が指摘される中、九州電力・川内原発が「新規規制基準に適合する」として事実上、「再稼働」を容認しました。政府も、フクシマの原発事故が「なかった」かのように、規制委員会により「安全性」が確認された原発は「再稼働」するとしています。

北海道においても、現在、原子力規制委員会によって、北電泊原発3号機の「審査」がすすめられています。しかし、地震が襲った場合の最大の揺れの大きさや津波の高さの想定、活断層の有無について、規制委員会は、北電の過小評価した申請に対し再検証を求めています。また、私たちの「いのち」に直結する「避難計画」の策定は、「再稼働」の要件に含まれておらず、「安全性」を保障するものではありません。さらに、北電は、「再稼働できないので電気料金を再値上げする」としていますが、多くの道民や市町村議会から反発の声が上がるなど、とうてい認められるものではありません。

私たちは、強く訴えます。決してフクシマを忘れてはなりません。原発はいりません。「再稼働」を許してはなりません。命と暮らしを守るため、そして、子どもたちの未来を守るため、

泊原発の「再稼働」をとめましょう！

川内原発をはじめ全国の原発の「再稼働」をとめましょう！

そして、すべての原発をなくしましょう！ さようなら原発！

2014年10月4日

**STOP再稼働！ さようなら原発北海道集会**